



▲市政の課題は山ほどある。後世に引き継ぐことも市長の責務



佐藤 富夫 議員

- 1、阿部市政 11 年を振り返る
- 2、教科書副読本『わたしたちの東松島市』

Q 阿部市政 11 年をどう引き継ぐか

A 若い人に期待をする

Q 市長は早々に勇退表明をした。理由は、人口減少、少子高齢化に対応する新しい人が望ましい。としているが、①少子高齢化は今始まったことではない。自身の総括として対応不十分であったと言うことか。

A 市長は早々に勇退表明をした。理由をすべきと思うが。③次回は確実に選挙になると言われる。市長は2回の無競争選挙であった。まかせておけば良いと言う反面、若い後継者が本当に育ったかは疑問。市長は人材に関し腹づもりがあるのでは。

Q 市長 ①私なりに対応はしてきた。課題として引き継ぐ。

②ノウハウは残る。色々な角度から考えてみた。

③市長在任中、若い人材に配慮してきたつもりである。志のある者は、自ら起意するものであり、禅譲や地盤、看板、かばんの時代ではなく出てくるように、配慮し勇退表明した。

県道・臨港道路等の整備促進を要望

6月1日、小野市民センターにおいて市および市議会は、共同で東日本大震災において被害を受けた定川、北上運河、東名運河などの早期復旧と県道や臨港道路の整備促進を県石巻港湾事務所長・県東部土木事務所長・渥美県議に要望した。

この要望は、市政発足以来、地元の渥美県議の計らいで継続して行っており、特に、震災からの復旧事業と更なる発展と活性化に不可欠な復興事業を中心としたものであり、被災前の姿を取り戻すのみならず被災した都市基盤や公共施設、そして何よりも市民生活環境

については、より安全で快適な暮らしの実現を可能にする。

また、要望事業の重点は、避難道路、避難場所などの防災施設を構築することにより、命を守り育むような環境整備を進めることにある。

要望書を提出した後、現地視察を行い、市職

員・地元議員などからの状況説明を行った。

その後、県担当職員から事業の進捗状況、実施計画・完成時期や予算執行上長期間を要する事業の優先順位などについて回答があった。

今後も継続しての要望活動と事業の早期完成を要望し、閉会した。



▲早期復旧と整備促進を要望